



**2014-2015年度 主題**

- 国際会長 Isaac Palathinkal : "Talk less, Do more"  
 「言葉より行動を」  
 アジア会長 岡野泰和 : "Start Future Now"  
 「未来を始めよう、今すぐに」  
 東日本区理事 田中博之 : 「誇りと喜びを持って」  
 "With Pride and Pleasure"  
 湘南・沖縄部長 峯尾 舜 : 「一人は皆のために 皆は一人のために」  
 クラブ会長 鈴木 茂 : 「親睦!と奉仕!」

**2014年10月号 <EMC/E>**

**今月の聖句**

「しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。」

ローマ8:37

**2014年10月本例会**

日時:2014年10月24日(金)  
 18:30~20:30

場所:田園都筑教会

受付:今城高之(報告書)

司会:林 茂博

プログラム

開会点鐘 鈴木 茂会長

ワイズソング・信条 一同

今月の聖句 相賀チャブレン

ゲスト・ビジター紹介 司会者

会長挨拶 鈴木 茂会長

会食 (食前感謝) 司会者

クラブシンキング

「会員をいかに増やすか」

入会勧誘候補者リストの作成、

勧誘担当者の割振り

進行役 鈴木会長

各種アピール

◇ 10月25日 横Yチャリラン

◇ 11月3日 横浜北YMCAまつり

◇ 11月29日~12月1日  
 部長沖縄公式訪問  
 湘南・沖縄部評議会

スマイル

YMCA報告 生井担当主事

誕生祝い 3日 今城宏子さん

閉会点鐘 鈴木 茂会長

懇親会は希望者のみ自由参加

**<トピックス>**



写真は神奈川県真鶴町で、8月に発見された謎の横浜YMCAゆかりのロックチャペルの十字架です。これまで、この存在は知られていませんでした。横浜YMCAキャンプ90周年、横浜YMCA130周年の時に発見される不思議なつながりです。詳しくは、横浜YMCA facebook 10/6をご覧ください

**<巻頭言>**

岡田勝美

大型台風が続けて日本列島を直撃しました。東北の見事なリンゴの樹木も被害が出たことでしょう。わがクラブの「YOU&Iコンサート」は10月4日(土)でしたので大丈夫でした。5日(日)の大雨の時は、私の地元太尾神社での秋祭りで散々でした。小さな神社ですが参拝者も多いです。地元で管理を任されて私も加わっており秋は忙しいです。

秋はまたスポーツ・芸術と楽しいことも続きます。先日は田園都筑教会での手作りアート展を観ました。目を見張るような素晴らしい作品に出会えました。多くの横浜つづきクラブの方たちが出展していました。今年の秋は欲張って尺八演奏会、華道展、染色織物展、難民映画祭といろいろ廻りました。染色織物展では人間国宝候補に名の上がった黄八丈の大家の作品と話を伺いました。「、、、丹精込めて染め上げた絹糸を見ていると、さあどうやって織り上げていくか、どういう着物に仕上げるか、ワクワクする。」と語っていました。物事を極めることは素晴らしいことです。毎日がワクワクしていることでしょう。

「私もこれから、、、」というと家内に「大丈夫よ、今も十分ワクワクしているじゃない。周りの人のことを考えずに、、、」といわれました。そうです、今私は鎌倉彫も漆塗りも、下手なりに時を忘れて楽しんでいるのです。

**11月例会予告**

11月本例会は、「ゲーム理論って何だろう」と題して首都大学東京大学院 社会科学部 教授 渡辺隆裕先生に卓話をさせていただきます。趣味は競馬・スキーとご自身の自己紹介にあります。ご期待ください。

**本例会:11月28日(金) 18:30-20:30**

**例会場:かけはし都筑**

11月事務例会は、11日(火)18:30から田園都筑教会で行います。来年の「YOU&Iコンサート」や下期諸行事計画について打ち合わせます。

前月データ	
在籍会員数	18名
例会出席者	16名
メンバー	15名
ゲスト	1名
ビジター	
メイキャップ	3名
月間出席者	18名
出席率	100%
プルタブ	3.5kg

## &lt;9月本例会報告&gt;

日時：2014年9月26日（金）18:30～20:30

会場：かけはし都筑 多目的研修室

出席者：相賀、今城H、岡崎、岡田K・M、鈴木K・S、田中、辻Ta・Ts、林M・S、福島、松本、横田

ゲスト：実生律子さん

9月本例会は、日本YWCA理事の実生律子さんを卓話者にお招きして開催されました。



開会点鐘・ワイズソング・ワイズの信条・今月の聖句・祈祷・会長挨拶と開会セレモニーに続いて、静かな会食の後、卓話を伺いました

実生さんがYWCAと関わったのは、先ずお母様がYWCAの職員であられ、その後押しがあって神戸YWCAに入職されたのが始まりだそうで、筋金入りのYWCA人生を過ごされてきたルーツに納得がいきました。

東京に居を移されてからは、東京YWCAに所属され、そこで関屋綾子さんに会われました。関屋綾子さんは、森有礼の孫であり、仏文学者森有正の妹ですが、世界平和アピール七人委員会の委員として、早くから非戦・非核運動のリーダーとして活躍された方です。

実生さんは、関屋さんのお人柄や国連でのスピーチに大変感銘を受けられたそうです。もう一つの出会いは、「留学生の母親」運動で結ばれた、とても有能な留学生との交わりで、今もその交流は続いているそうです。

東京YWCAの「留学生の母親」運動は、一人の会員に一人の留学生を組み合わせ、家族のような交流を土台に、留学生生活が実りあるものとなることを願い、お互いの信頼関係を育て、真の国際理解を深めることを目指しています。（東京YWCAウェブサイトから引用）

配付された日本YWCAのパンフレットには、「イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する。世界の人々と共に、人権・平和・環境の問題に取り組む。」と、そのミッションが明記されています。

私の個人的な感想ですが「YWCAは、ふれずに地道な運動を継続されている」と感じました。また、現代表理事に石井摩耶子さんの名を見つけ、大変懐かしく感じました。私より少し先輩ですが、同じ田園調布教会で教会学校から青年会時代を過ごし、その才媛ぶりにあこがれていました。（遠い昔の話です。）

閉会後の懇親会は、「ピッツァ サルヴァトーレオモ」にてなごやかに持たれました。

（林 茂博記）

## &lt;10月事務例会報告&gt;

日時：2014年10月14日（火）18:30～20:15

出席者：今城T/H、岡崎、岡田K/M、鈴木S/K、田中、辻TS/TA、林S/M、福島、松本、横田

➤ 報告・連絡事項

(1)10/24 本例会の件⇒司会は林Sに変更。当日の夕食はお弁当。懇親会場は特に予約せず、有志での参加。

(2)すぷーん・ポケットとの「ボランティア覚書」は、2014年10月2日締結済み。

(3)10/25(土)横浜Yチャリラン⇒つづきクラブのメンバーは08:00集合とする。

(4)11/3(月)横浜北Yバザー⇒当クラブから8名参加。集合は09:00。林Mより「バザー準備会(11/2)」にも都合のつく方に出席依頼あり。

(5)11月本例会⇒司会は辻TS、受付・ブリテンは横田。卓話：渡辺隆裕先生。夕食は懇親会にて。

(6)部長沖縄公式訪問・部評議会⇒参加者は鈴木会長、今城次期部長の2名を確認。

➤ 協議

(1)YOU&Iコンサートの評価と反省⇒①横田：売上は対昨年比4～5万円ダウン。昨年より障がい児・者の来場が増加し、一方で一般の方の来場が減少した。しかし、この傾向はコンサートの主旨に沿うもので好ましいことと考える。帳尻的には、ギリギリ来年の予約金が残ればよい、という感じである。②今城Tより「アンケート集計結果」にもとづき説明があった。第5回を実施するなら近い将来運営委員会を開催してスタートし、事務局長の後任について議論したい。実施する場合原則的には、開催日10月の第1(土)を第1候補日とし、「横浜室内合奏団・横浜室内歌劇団」にお願いすることを提案したい。

③福島：お孫さんの「みあげてごらん」は知らなかった。「知っている歌を歌いたかった。」との感想が紹介された。

(2)当クラブの会計状況について⇒松本：本日現在、残高は11万円。チャリランに10万円を支出すると1万円しか残らない。鈴木S：もし、会費未納のメンバーがおられるなら可及的速やかに振り込んで頂きたい。林S：今年の9月から開始したブリテンのウェブ配信の効果についての説明あり。年間で22,400円のコスト減となる。今後とも郵送分を減らすべく検討・努力する。

(3)北Yとの交流会及び富士山Y例会について⇒①対北Y交流会：鈴木S:2015.2.27(金)の予定。②富士山Y例会⇒2015.5.22～23に実施予定(場所は予約済み)。卓話は生井館長にお願いする予定。

(4)今・来月のCS活動の件⇒①すぷーん(月)調理ボラ：10/13 辻TA・林M、11/10 辻TA・鈴木K、11/17 福島・岡崎に変更。②GTL(水)傾聴ボラ、ぼけっと(火)送迎ボラは変更ナン。なお、「傾聴ボラ」に関しては、辻TAよりできればお相手を固定して頂きたい旨発言あり。本件については今城Hと協議することになった。

閉会：故工藤洋士ワイズのご命日に因んで黙祷。

懇親会：「嘉門」(13名参加)

(辻 剛記)

**<再び山元町を訪ねて>**

(報告書抜粋) 今城高之

今回の訪問は、去る9月18日(木)に実施されました。午前7時36分東京発、はやぶさ3号の車上の人となったのは、林ワイズ夫妻、辻剛ワイズ、今城高之ワイズの4名。9時10分仙台着、直ちにレンタカーを駆って10時30分からの「みやま荘」お誕生会に向かいます。

今月お誕生日を迎えられるのは、94歳を最高齢に3人の女性入居者の方々です。ここでは、清水弘一ワイズ(仙台青葉城クラブ)と仙台YMCAの村井総主事他スタッフ1名の方が参加してくださいました。この場を借りてお礼申し上げます。



約1時間、手作りのバースデーカードを3名の方に贈呈したのを皮切りに我々の出番です。手遊び、歌、手品、写真撮影(全体、個別)等を行いました。



手遊びにしろ、歌にしろ、積極的に参加できる方もいれば、見ていただけの方もおられ、本当に喜んでいただいているのか、つかみかねますが、職員の方々のお話を伺うと、我々の訪問後は、毎回、皆さんが以前より明るくなり、積極的にプログラムにも参加するようになる、とのこと。お役にたっていることが実感されます。



今年度から、毎月のお誕生日会に間に合うよう、林理子ワイズが心を込めて作成する、手作りバースデーカードをお送りしています。



昼食をはさんで、午後3時より「山元町立南保育所」を訪問しました。このところ、我々の山元町訪問に同行して下さる、力強い助っ人、リミックの専門家石丸由理ワイズ(東京武蔵野多摩クラブ)も、お弟子さん共々合流してくださいました。たまたま、同じ町内の別のイベントに参加しておられたとのことでした。

保育所では、子どもたちが前回の石丸さんを覚えていたようで、彼女の顔が見えた瞬間から40名強の子どもたちの顔に嬉しさの波が広がっていくのが分かります。



5人のお誕生日を迎える子どもたちにカードを贈呈。いよいよ「石丸マジック」の始まり～。これより約1時間、保育所の大広間は、子どもたちの嬌声と熱気に包まれました。何処からこんなエネルギーが出てくるのか、本当に不思議です。



子どもたちも、職員さんも、お迎えのお母さんも、我々も、くたくたになってプログラム終了。次回を約束して山元町を離れました。

最後は、仙台駅にほど近い、知る人ぞ知る、牛タンの名店「真助」(清水ワイズご紹介)で喉を潤し、テーブル付牛タン定食に舌鼓を打ってプログラム終了。石丸さん、ありがとうございました。

皆さん、お疲れ様でした。

(報告書全文は、理事通信をご参照ください。)

### <第4回 YOU & I コンサート開催>

前号の本誌でもお知らせしたとおり、我がクラブ最大の年中行事である“YOU & I コンサート”が、去る10月4日（土）、横浜市都筑区公会堂にて開催されました。



2011年、クラブ設立5周年を機に、新しいプロジェクトに取り組みようと話し合い、大和YMCAが行う「輪・和・WA コンサート」に倣って始めた、障がいのあるなし、大人も子供も関係なく、誰もが楽しめるバリアフリーのクラシックコンサートです。



このコンサートの運営は、我々のクラブと地域のNPO法人4団体、横浜北YMCAとで構成される運営委員会が担っており、コンサートの企画、入場券の販売、コンサート当日の裏方業務までを皆で協力して行っています。また、このコンサートの一番の特徴であるバリアフリーを実践するため、当日は、会場の座席の一部を撤去して車椅子専用席を用意します。

素晴らしい音楽を奏でてくれるのは、第1回からお願いしている横浜室内合奏団（団長、佐藤大祐氏）の皆さんで、その素晴らしい音色に、今や沢山のファンも生まれました。



本コンサートの運営資金は、入場券収入と各方面からの支援金に依存しています。一般来場者には1,000円、障がい者には500円（同伴の介護者は無料）をそれぞれご負担いただいているほか、横浜YMCA、Y'sメンズクラブ湘南・沖縄部、都筑区社会福祉協議会など

から支援金を頂いています。



さて、今回の第4回コンサートでは300枚を超える入場券を購入して頂いており、同伴の介護者、未就学児童、主催事務局、演奏者を含めると参加者は約400人と推計され、これまでの最高を記録しました。

会場で行ったアンケート調査によりますと、123通の回答の内、95～98%の方々が、「コンサートの運営」「プログラム内容」に満足しておられ、「次回はたぶん来ない」と答えた1名の方を除く全員が「次回も来る」と回答してくれていることに、我々関係者一同大変勇気づけられました。



かくして、約1年間かけて準備してきたコンサートは成功裏に終了し、私達は早速、来年の第5回コンサートに向け準備を開始します。皆様、どうか第5回コンサートを楽しみにお待ちください。



ご協力頂いたすべての皆様、ご来場された皆さま、本当にありがとうございました。

第4回 YOU & I コンサート運営委員会事務局  
今城高之

## ＜東京ベイサイドワイズメンズクラブのチャーターナイト に出席して＞

この度東京ベイサイドワイズメンズクラブの国際協会加盟認証状伝達式に出席して参りましたので、その模様をご報告致します。

チャーターナイトは9月20日、午後5時より東京YMCA 東陽町センターで厳粛に執り行われました。参加者は、山崎孝明・江東区区长、廣田光司・東京YMCA総主事、田中博之・東日本区理事及び全役員、コメントを含め総勢約170名の方々が出席されました。

第1部が加盟認証授与式、第2部は記念プログラムとして弦楽奏によるコンサート、第3部が祝会と云う構成でした。



東京ベイサイドクラブは、江東区の新しい街である東雲地域に、ワイズメンズクラブを設立させ、地域活動・コミュニティ活動を展開したいと考え、誕生しました。まずは、「し の の め YMCA こども園」とその周辺のサポートから初めていく方針とのことでした。

チャーターメンバー16名でスタートしますが、会長のさんも書記さんも会計さんも（日本キリスト教団「新宿コミュニティ教会」の若き牧師先生）とにかく皆さん若い！女性メンバーは1名、横文字のお名前の方が2名と国際色も豊かです。

区長さんもお挨拶の中で「6年後のオリンピック、パラリンピックでは江東区は地元になるので是非色々協力して欲しい。その点このクラブはメンバーの皆さんが非常に若いので大変心強い。」と大きな期待を寄せていました。工藤大丈会長は、「2年前に江東クラブに入会してワイズライブをスタートしたが、この新しいベイサイドエリアでこれから何が起こるかワクワク感で一杯です。娘が「し の の め こども園」に入園したが、10年後20年後、このエリアが子ども達にとってふるさとになって欲しいと考えている。そのためにこれから10年、20年かけて何をやっていくかじっくり考え、コツコツと実行していきたい。」と熱く語っていたのが大変印象的でした。

若くて新しい東京ベイサイドクラブの今後のご活躍、ご発展を祈りながら帰途につきました。

(辻 剛記)

## ＜2014-2015年度湘南・沖縄部会参加報告＞

日時：2014年9月27日（土）16:00～19:30

会場：鎌倉パークホテル

会費：6,000円

参加者：80人（内横浜つづき11人）

今年の湘南・沖縄部会は、峯尾 舜部長を送り出している金沢八景クラブのホストにより、9月27日（土）鎌倉パークホテルで開催された。東日本区からは田中博之理事、渡辺 隆次期理事ほか11人の来賓があり、西日本区からも来年のアジア地域大会をホストする京都 TOPS クラブから、3人のアピール参加があった。

第I部の式典では田口 努横浜YMCA総主事より、「横浜YMCAは今年130周年を迎えた。この機に改めて、様々な状況に置かれた人びとの共生を目指して、多障がい・多文化・多世代等多様な人びとが共生する社会を目指した諸活動に一段と注力したい」とのご挨拶があった。また韓国・光州YMCAから、130周年記念品として“平和の鐘”の寄贈があり、富士山YMCAに設置する予定であるが、その設置費用につき、湘南・沖縄部より特段のご配慮を願いたいとの希望表明があった。

田中博之東日本区理事からは、前期に東日本区会員数は22名の減少であったが、その中で湘南・沖縄部は唯一3名の増加であり、この勢いで会員増強に頑張してほしいとお話があった。続いて、山本・地域奉仕事業主任、利根川・国際交流事業主任、衣笠ユース事業主任より、事業方針の説明と事業への協力依頼があった。

第II部では、峯尾部長自らによる「日本人と人権」と題する講演があった。その内容には賛否両論があるろうかと思われたが、約40分のスピーチを原稿なしで遂行されたその力量には感服せざるを得なかった。

第III部の懇親会は、池田直前部長の開会の辞に続いて、厚木クラブ等による「第18回東日本区大会」のアピール、京都TOPSクラブ等による「第26回アジア地域大会」のアピールが行なわれた後、渡辺 隆東日本区次期理事による挨拶・乾杯によって、会食が始まった。料理は美味しく、好評であり、和やかな立食パーティーであった。19:30頃閉会となった。

今回は場所が鎌倉と、横浜の都心から若干離れており、ホストの金沢八景クラブでは参加者数の予測等ではご苦労も多かったと予想されるが、結果的にはまずまずの参加者を得て、部会の運営も極めて手際よかった。金沢八景クラブの労を高く評価したい。



(鈴木 茂記)

## 私のCSボランティア活動 (その2)

### <「高齢化社会をよくする虹の仲間」の会員として>

鈴木 恭子



「虹の仲間」は今から30年前、ある大手企業の広報誌編集を担当していた三井君子さんと私の妹の佐渡友順子が発起人となって、「高齢化社会を住みよいものに

したい」という思いで立ち上げたボランティア団体です。当時マスコミでは、「やがて世界に例を見ない大変な超高齢化社会がくる」と連日のように報道していました。それを聞いて当時40歳前後の三井、佐渡友の両名が地域としても何か活動しようと立ち上げたのです。

「虹の仲間」の理念は、「私たちは生ある限り、老いても障がいを持っても死を迎えるその時まで、人としての誇りを失わず充実した日々を過ごしたいと願う。そのためには、みんなの知恵と努力と助け合いで、安心して暮らせる豊かな人間関係が不可欠である。そこで「虹の仲間」は、話し合い、学習会、講演会などを気力体力が十分なうちから繰り返し行なうことにより、会員相互の自覚を促し、互いに助け合い支えあう仲間づくり、地域づくりをおこなう。」と要約することができます。この理念のもと、学びの会を中心にいろいろな活動をしてきました。

たとえば、毎月のセミナー（心を考えるシリーズなど）、虹のハーブガーデン開設、阪神大震災被災者マスク作り、東北被災地保育園等との交流、北海道大野町への植樹（5回）、覚書「私のノート」の出版などです。

現在「虹の仲間」ではいろいろの行事に加え、サークル活動も活発に行なわれています。発足当時、私は義父母の介護、障がい者施設のボランティア、民生委員などでこのグループにはなかなか参加できませんでした。しかし今は、こうした負担から解放され、「虹の仲間」のサークル活動に参加し、楽しんでいます。私が参加している「虹の工房」は月1回7～8名が集まり、寄贈された和布で小物を作り、バザー等で販売した売上金を交流のある東北被災地の保育園に送っています。また障がい者が織る裂き織りの材料として着物を7ミリの幅に切って下さるのは92歳の会員の方です。「虹の仲間」には現在10のサークルがあり、ご高齢の方々が助け合いながら社会とつながり、生き生きと活動しています。

## <横浜北YMCAだより>

やっと涼しくなり秋の訪れを感じられますが、秋そのものが、どんどん短くなってきているように感じます。

さて、この10月18日に横浜YMCAは創立130周年を迎えました。今まで本当に多くの方々にお支えいただき、ここまで歩んで来られましたことに感謝を申し上げます。さて、秋はイベントも多く皆様にもご協力いただいているチャリティーランや北YMCAまつりの準備も進められています。チャリティーランでは、今年度120チームもの申し込みをいただいています。横浜YMCAをはじめ全国のYMCAで進めていますこの障がい児・者への支援の輪が広がっていくこと、本当に多くの方々のご理解とご協力をいただけますことに感謝を覚えます。

当日も横浜つづきワイズメン&ウイメンズクラブの皆さま、どうぞよろしくお願ひいたします。

そして、様々な場面でこれからもY'Sの皆様にご協力とご指導をいただきながら一緒に歩いていきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

《11月の主な行事予定》

11月 3日 北YMCAまつり

11月22日～24日 日本YMCA大会

(御殿場、東山荘)

横浜北YMCA 館長 生井知三

## <沖縄Y車両購入特別寄付金のお礼>

前略

沖縄YMCAでは平成26年度の県共同募金会の車両購入事業に採択された喜びも束の間、あまりの自己負担額の増加に苦慮した末、東日本区ワイズメンズクラブの皆様方への特別寄付金の勝手なお願ひでしたが、早速の御支援を賜り心より感謝申し上げます。当該車両については、ディーラーの配慮もあり7月末の早めの納車で、この夏休みの各種キャンプ等に活用することができました。

購入資金造成目標額までは、あとひと頑張りする必要がありますが、お陰様で目標に更に近づくことができました。

終わりに、貴ワイズメンズクラブとサポートYMCAの益々の御発展をお祈り申し上げます。

沖縄YMCA

理事長 知念一郎

